

専攻科通信 No. 2

制作：常角

9月30日から操業が始まりました。今回は操業回数17回（適水含む）でしたが操業が12回目あたりから台風が接近し、13回目から中止となりました。

操業中は当直のほかに揚縄作業、投縄作業、冷凍作業が増えます。これまでの操業は揚縄3までありましたが今回は揚縄2で終わりということで投縄の仕掛けの針も少なくなり投縄の作業時間が少し減りました。

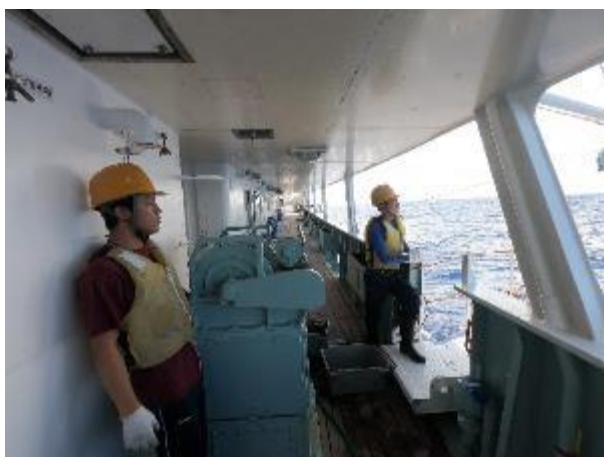
投縄作業

投縄作業は朝5時20分～9時頃まで作業します
針に餌を付け船尾の方から船外にブランを投げます
本科生に指導しながら頑張っております！



投縄終了後は海洋観測があります

A-STD というものを使って水深を計測しそのデータを収集するかわりに
操業をやってもよいという条件なので投縄終了後は必ずやります



冷凍作業

冷凍作業は13時30分～14時30分まで作業します

取れたマグロを急速冷凍するために冷凍室にマグロを保管します

冷凍室内は -50°C という極寒の為髪の毛などや眉毛などに霜がつきます



通常神海丸の冷凍機は3台あるうち1台しか動いてないですがこの操業期間中は冷凍能力を上げるために2台並列して動かします。

揚縄作業

揚縄作業は揚縄1が14時～およそ18時30分 揚縄2は18時30分から22時30分まで作業をします。

揚縄作業の専攻科生は船員さんが間に合わなかったプランの修正を行ったり、汚いプランなどを修正や、マグロの口縛りや本科生のプラン立てのサポートをします。

